



The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL205.2025.1>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

1月の聖句 エレミヤ書 31章3節



「主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。」

「主題」

国際会長	シャナヴィスカーン(インド)
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)
北東部長	大久保知宏(宇都宮)
もりおかクラブ会長	長岡 正彦

「より良いコミュニケーション」
「太陽の輝きと笑顔」
「ワイズの方向性を見極める」
「クラブのミッションを育てよう」
「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

令和2025年2月定例会
日時、場所 2月15日(土)
18時～20時(第3土曜日)
アイーナ6F 団体活動室2
卓話 ゲストの梶原さんが、「ほや」のお話をさせていただきます

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、2025年が始まり、早や1月を過ぎようとしています。今年目標ややりたい事は何？考えている間過ぎ去る日々の早さを実感します。3月に甥っ子が結婚式と披露宴を行うという事で披露宴の余興でのギター演奏で「青春の影」と「乾杯」をミックスで編曲を行いました。けっこういい出来だと思っております。

さて今年目標ですが、クラブの例会の出席率のアップを目指したいです。最低でも、半年に1回は出席して欲しいものです。例会に足が遠のくと、さらに出席がおっくうになり、退会への意思が芽生えてきます。何人もの会員が過去に退会してしまいました。それを防ぐためにも、例会への出席を促して行きます。

さて、私自身の行動目標ですが、ブリテン記事の収集活動を積極的に行います。毎月のブリテン発行に記事が足りないという事への改善をはかっていきます。勝手なブリテンでは皆様のまた同じパターンだと飽きられるような気がします。ブリテン掲載の文章をお願いする機会が増えるかもしれません。その時はどう

ぞよろしく執筆をお願いいたします。

1月新年例会の報告

2025年1月11日(土)、盛岡北ホテルにて開催。参加者、三田、長岡、高橋、井上優子、魚住、東森、福井、大関以上8名。(敬称略) ゲストリーダー、青山 優菜さん(エア)、十文字 春菜さん(キャラメル)2名、全10名の出席でした。



キャラメル開会点鐘、エア開会点鐘

大関メンが久々の参加でしたが、メネットが体調を崩して一人で留守番は心苦しいと早々に退席していかれました。井上メン大関メン、もりおかクラブの長老たちが、調子が出ないのは少し心配です。暖かくなったら元気な姿を見せてください、今は十分ご自愛ください。福井さん出席で嬉しいです、政治の話をしたかったです。これからの国会運営の行方など、少数保守の苦しい立場などのたくさんお話を伺いました。ミケさんは自分の席が少し上座だと気にしておられましたが、上座、下座など

日本人の型式ばりの常識など関係ありません、そこでいいんです。エアとキャラメル、昨年の盛大学祭以来の久々の対面です。あのせつはたいへんご苦労様でした。キャラメルはすこし化粧して綺麗な女の子で登場、一瞬、誰だかわかりませんでした。ジャージ姿しか見ていませんので、とてもかわいかったです。エアもね。

出席人数が少なかったため、各員のスピーチは長めでも問題ありません。新年の抱負などをお話いただきました。新年最初のなんとらは、良いですね。どんな話をしても今年最初。さあ、2025

年が始まりました。21世紀も1/4経過します。ワイズメンズクラブは力強く未来に進んでいきましょう。



新年おめでとう、今年もよろしく～

新年のスピーチ、なに語る？

長岡会長: 新年あけましておめでとうございます。雪が少ない冬になりました。スポーツ観戦の日々を過ごしております。若者が青春のすべてを費やしてきた結果が出るのはせいぜい90分です。スポーツは残酷です。ワイズで何が楽しいのか、リーダー達とのふれあいです。リーダー達がよりよい活動ができるため環境を整えていきます。

福井メン: みなさん、明けましておめでとうございます。巳年です。金運がいいと言われてます。皆様の懐にも実入りが良くなることを願っております。

魚住メン: 正月に訪ねてきた孫から風邪をうつされて、出かけもせずおとなしく駅伝観戦をしていました。娘婿が箱根出身でポイントで孫の顔が見られるかもしれないと、画面を探るのが正月の日課です。6度目の年男です。なにかいいことが起きるのを期待しています。

東森担当主事: 明けましておめでとうございます。4日から始まった学童で餅つきをしました。男子は「またなんかやんのかよ～」って言ってきますが始まると思いきり楽しめます。女の子はけんかの内容が「ザ、女子」という感じで精神年齢が男子よりはるかにすすんでいると感じた新年でした

青山 優菜さん(エア): 今年4年生になり、あと1年で卒業を迎えます。悔いがないように過ごしていきます。Yでの宝物を大事にします。ワイズの皆さんは大人の世界をみせてくれます。アルバイトでお客様と接するの、落ち着いてお話ができるのはワイズのみなさんのおかげだな、と思っています。

十文字 春菜さん(キャラメル): 昨年Yの滑動で子供の人権カルタプロジェクトの主担当でした。活動の内容をYMCA大会で発表しました。結果グランプリを獲得しました。副賞でプ

ロモーションビデオ制作の権利をいただきました、新年度にさらに活動を広げるため素晴らしいビデオを作りたいと思っています。ワイズメンズクラブをはじめとして支えてくださる皆さまに感謝しております。今年もよろしくお願いたします。

三田メン: 年末年始、インフルエンザやコロナで、大変忙しく仕事をしておりました。今年は来年度の北東部部長になります北東部の役員選定に苦しんでいます。さらにユースボランテアリーダーズフォーラムの実行委員長もやります。会議が目白押しです。AYCの大会が熊本であるため、皆様の力をお借りして考えております。さらに、ダーツのプロ活動にも励んでいきます。

井上優子メネット: 井上が骨折で入院しております。年末は1人でした。息子家族が呼んでくれて、仙台で年越しでしたが。息子以外、インフルエンザにかかって、二人だけで年越しをしました。息子の料理の腕前に感動し、何十年ぶりに紅白歌合戦を観て、南こうせつとイルカの歌に大感動しました。今年の目標は「急がない！」です。行動はゆっくり確実に動くことに決めました。ワイズではリーダー達と食事ができる事が嬉しいです、井上もそう話しておりました。

高橋ウエメン: 皆様のお話を聞いて私は反省の塊です。めげずに今年もよろしくお願いたします。エアとキャラメルの話聞いて同じころの自分を思い出、単位習得や運転免許取得で自分が楽しもうとしていただけでした。くらべて、集うリーダー達は頑張り屋さんだと感じております。ワイズに入り、そんな感覚を感じる事が出来るのが嬉しく感じます。やり直せるのならもう一回やり直したいと感じている少女です。

ちよっとひと休み

1月25日、朝8時の岩手山です。久々にきれいな姿を見せて



おお岩手山、がんすけどん。やっぱり美しいですなあ。

くれました。市内には「雪はほとんどなく、なんて過ごしやすい冬だと思っていましたが、岩手山には冬種軍がどっかと居座り、

「え、なんだって？ このまま春が来るなんて甘いんだよ。」と言っているようです。いつもの通りの真冬の姿でした。

盛岡だけです、雪が少ないのは、東北各地。大雪で都市機能がマヒしています。いずれ盛岡にも名残雪が襲ってくるでしょう。

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

1月の出席率	7/15	45 %	ゲスト	2名	メネット	1名		
メーキャップ	0名				1月切手	0g	累計	189g
1月のにこにこ	0円	累計	0円	富士宮焼きそば	0円	累計	5万円	
1月 石鹸	0円	累計	0円	りんご	0円	累計	0円	
1月 献金	1,000円			ファンド合計				

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

1月のハッピーパースディ 1/3 濱塚 有史メン、お誕生日おめでとございます。

地球温暖化について考える。

地球温暖化は深刻な問題であると、国際会議で真剣な議論が続いていますが、これまで先進国が享受してきた快適な生活を続けていく限り原因とされるCO₂は削減できないような気がします。途上国では電気が通らない部落が大多数で、日本のように山の中の一軒家でさえ通電されているわけではありません。電気の使用制限や、石油の供給制限、大企業の工場の稼働制限などを行いCO₂の排出を抑制したら、たぶん喜ぶのは中国やアメリカだけでしょう。「そんなの無理だよ」という記事を見つけましたのでご紹介します。

地球温暖化の危機が叫ばれ、日本でも台風やゲリラ豪雨、猛暑などが温暖化による悪影響だと報道されている。その温暖化の原因は、石炭や石油など化石燃料によって発生した二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスによるものとされ、世界各国が地球温暖化防止のための条約(国連気候温暖化枠組条約)を締結し、最近では世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて2°C未満に抑え、1.5°Cにおさえる努力をすること、21世紀後半にはCO₂など温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標としている。日本政府も2050年までにCO₂排出量の実質ゼロを目指すとして世界に約束し、政府だけでなく自治体、企業、学校までこぞってその取組を進めている。とは言え、石油、天然ガスや石炭は日本の工場、家庭、商店、病院などありとあらゆるところで使われており、そこから常時排出されるCO₂をゼロにすることは現実に可能なのか。可能だとしてもどれくらいのコストがかかり、日本の産業はそれで大丈夫なのか。そもそもCO₂をゼロにしないと地球は本当に災害で破滅してしまうのか……こうした素朴な疑問が湧いていく。

ヨーロッパでも東欧は脱炭素なんてまったくやる気がありません。これから経済成長したいと思っている途上国にとって「CO₂ゼロ」は迷惑な話です。アメリカでも温暖化をまったく信じていない共和党議員がたくさんいます。日本はどうかといえば、国際会議では西欧諸国や国連があれこれ言うから、「温暖化対策は待ったなし」「2050年にCO₂実質ゼロ」に一応同調しているけれども、実際にこれらの国々が作っているエネルギー計画を見れば、まったく「CO₂ゼロ」を目指していないことが分かります。

そもそも「CO₂ゼロ」に実現性があるのかという問題があります。現在、世界のCO₂排出量(2018年)は、中国28.4%、アメリカ14.7%、EU+イギリス9.4%、インド6.9%、ロシア4.7%、日本3.2%。つまり、中国とアメリカで世界のCO₂排出量の4割以上を占めているわけで、この2国が本気にならなければCO₂は減りません。

最大のCO₂排出国である中国は2060年にCO₂を実質ゼロにすると断言していますが、これは遠い将来の話でしかない。現実的な話としては5年後、10年後どうするかが大切なのですが、中国は2020年からの5年間はCO₂を1割増やすと断言しているのです。中国のCO₂排出量は日本の10倍ですから、その1割といえば日本の年間排出量と同じ量のCO₂を増やすと断言しているのです。現在、石炭使用量は過去最高を更新中で、CO₂を大量に排出しています。2025年以降は排出量を削減するとも言っていますが、それは大幅に増やし続けてきた排出量を、それほどは増やさないと断言しているだけ。結局、ここでもCO₂排出量は増えることになるでしょう。

つまり、「CO₂ゼロ」は世界の排出量の4割以上を占める米中が本気にならない限りCO₂は減らないわけで、仮に日本が「CO₂ゼロ」を達成したとしても大勢に変化はない。これが世界の現実です。

「CO₂ゼロ」を実現する技術にしても、例えばCO₂を発電所や工場から回収して地中に埋めるCCUSとか、水素からメタンを作る合成メタンなどがあげられていますが、まだ実験室とかパイロットプラントのレベルでしかない。

仮に、それらの技術が実用化されたとして、そのコストは原子力利用の幅によって大きく変わりますが、年間43兆円から72兆円と試算されています。現在の政府の一般会計は年間110兆円ですから、「CO₂ゼロ」を実現するために予算の大半を使うというのはとても受け入れられる話ではありません。そんな予算があるなら、例えば洪水被害を防ぐ治水対策に費やすべきでしょう。

そもそも太陽光発電や風力発電で作った電気を使うというけれども、絶対に採算が合いません。太陽光は太陽が陰ったら発電しないし、風力は風が止まったら発電しません。そのために、太

陽光や風力を利用しようとしたら、常に火力発電所を稼働させてバックアップすることが必要になる。再生可能エネルギーで発電しようとしたら、発電所は二重投資になって大変なコスト高となるのです。それは電気料金の値上げという形で国民に跳ね返ってきます。既に2012年7月から始まった「再生可能エネルギー固定価格買取制度」により、年間総額2.4兆円の付加金が発生しています。最近、電気料金がどんどん高くなっているのは、それが大きな要因です。問題はそれだけではありません。太陽光発電、風力発電、電気自動車はそのいずれもが、いまや中国が最大の産業を有しています。日本や西欧が「CO2ゼロ」の実現に向けて巨額の温暖化投資をするとすると、中国から輸入することとなり、中国経済は大いに潤うことになるでしょう。言い換えれば、日本や西欧は「CO2ゼロ」で国力が弱体化する一方で、CO2を排出し続ける中国は国力が強くなる。そんなバカみたいな話になるわけです

温暖化の悪影響という話はほとんどフェイクニュースです。実際、これまで地球温暖化の影響で起きると言われた不吉な予測はことごとく外れてきました。例えば、北極グマは温暖化で海水が減って絶滅すると騒がれましたが、今では逆に増加しています。クマを殺さず保護するようになったからです。海拔数メートルのサンゴ礁の島々が温暖化による海面上昇で沈んでしまうと言われましたが、現実には沈没していません。サンゴ礁は生き物なので海面が上昇するとそのぶん速やかに成長するからで

ADHD 笑い話

ADHDのように感じるアニメキャラクターというと、「クレヨンしんちゃん」の主人公であるしんちゃんが出てきます。

なにか気になるものがあるとそちらへと移動し、基本的にジッとしていることが苦手という、ADHDの特徴を多く見せてくれるキャラクターでもあります。ただ、コミュニケーション能力が高いキャラクターなので、ADHDと言われても、それほどADHDのような雰囲気を持ち合わせていないキャラクターでもあります。

また、しんちゃんは嘘つきではないのですが、誰に対しても「おらは〜だと思ふぞ」というふうに、言い訳を並べてしまうことが多いです。これは同年齢の子どもに対してだけでなく、大人に対しても同じような対応を取っているのでも、注意力散漫というより、社会的になにかと問題の多い人物のように感じることもあります。

実際の人物と比較するとわかりますが、幼児とは言え言葉遣いが悪い、もしくは態度が悪いと感じるシーンは作中に多く登場しますし、態度を改めることがないまま終わってしまう話まで存在します。では、なぜしんちゃんのようなキャラクターが今でも

編集後記

今月号を編集して、例会の記事を書き終わった時、次の記事が全くないという事に気づきました。どうしよう、約2ページを埋めるためになやみました地球温暖化の事を書こうと思った時、一般的な節約や、環境にやさしい行動などと思いましたが、米国のトランプがパリ協定から離脱する報を受け、こんな人もいるのだと気づきました。根拠があるのですかと聞きたいものです、

逆に拡大している島もあるほどです。

結局、温暖化はゆっくりとしか進んでいないし、その影響で災害が増しているわけでもない。温暖化の理由の一部はCO2ですが、それ以外の要因も大きく、CO2の大幅排出削減は「待ったなし」ではない。これが温暖化の科学的知見だと言えるでしょう。

いくらCO2が減っても高コストであれば誰も使わないけれども、安くてCO2が出ない技術が出てくれば、みんな喜んでやるはず。そうした技術を生み出す上で重要なのは、裾野の広い製造業の基盤であり、それこそ日本の強みです。そうした製造業全体の総合力のなかから新技術も生まれるし、コストも下げられると思うのです。また、技術基盤の充実に国をあげて注力していけば、「CO2ゼロ」の話がどうであれ、必ず国益に繋がります。繰り返しになりますが、日本にとって大事なものは、温暖化の脅威よりも、中国の脅威です。日本は経済力、技術力を含めた総合的な国力で中国に負けてはいけません。経済も技術も国の安全を守るためにあるのです。「CO2ゼロ」を実現せんがために、経済がダメになったり、技術力が失われたりするのでは元も子もないのです。

地球温暖化対策に異を唱える科学者の発言ですが、乱暴ですよ。豪雨災害が毎年どこかを襲っていますし、被災者の心情を逆なでしています。子々孫々まで素晴らしい地球を受け継ぐのは無理なのではないでしょうか。

好かれているのかというと、思いやりのある優しい子どもだからでしょう。多くの方は、しんちゃんを見る時に多動性障害のような問題点を見つけるよりも、むしろ、子どもの頃は自分もこうだったかと思ってしまうことが多いのです。これが、クレヨンしんちゃんを名作にしている理由でもあります。

ADHDのように感じるアニメキャラクターとして、多くの人から認知されているキャラクターというと、今でものび太が高い人気を誇っています。

多くの方がドラえもんを漫画、アニメで知っているという意味でもあります。また、のび太のどこがADHDなのかというと、それは、しんちゃんと同じで、人の話を素直に聞けないところにあります。のび太は根が真面目なのですが、なぜか頑固者の一面があります。ジャイアンも、ADHDのように感じるアニメキャラクターとして有名なので、ドラえもん以上に、ADHDをアニメから学べる名作は少ないかもしれません。のび太の場合は性格に問題があり、ジャイアンの場合は暴力的、そして物事に対して知性を感じない様が、ADHDのように見える一因のように感じます。

で待てよ、CO2排出削減に異を唱えているひとがいらないだろうかと調べたら、前述の記事を見つけました。温暖化が進んでいるのは間違いないと思うのですが、彼の主張では「大丈夫だあ」でしょうか。いろんな人がいますね。

なにはともあれ、2025年の始まりです。今年も元気に、体に気を付けて、よく食べ、良く眠り、リーダー達と楽しく遊びます。

長岡、今年も遊ぶぞ〜